令和7年度　学校評価（自己評価）　北海道滝川高等学校定時制課程

領域	番号	目標	本年度の具体的方策	評価平均	分掌平均	達成度評価 A	達成度評価 B	達成度評価 C	達成度評価 D	CDの個数	取組評価 4	取組評価 3	取組評価 2	取組評価 1	令和6年度数値 年度末評価Cの個数	令和6年度数値 年度末分掌平均
組織運営	1		「学校教育目標」は、教育活動全体の指針として適切か。	3.5	3.2	4	3	1	0	3	4	5	0	0	1	3.4
	2		信頼される学校づくりを推進することができているか。	3.4		2	6	0	0		4	5	0	0		
	3		校務分掌や各係、委員会は適切に組織され機能しているか。	3.1		2	6	0	0		4	4	1	0		
	4		教職員の相互理解のもと、協働する組織体として機能できているか。	3.1		1	6	1	0		4	3	1	0		
	5		教職員としての専門性を向上するための研修体制は充実しているか。	2.9		2	6	0	0		4	4	1	0		
	6		休暇や休業日の取得など、教職員の働き方や、健康管理、福利厚生について配慮された職場環境となっているか。	3.1		3	4	1	0		5	4	0	0		
管理職	1	効率的な校務処理と組織運営の促進	各分掌、学年、係との連絡調整に努め、学校運営の円滑化に資することができているか。	3.0	3.2	2	5	1	0	3	5	4	0	0	0	3.3
	2	特別支援教育体制の充実	特別な支援が必要な生徒に対しての指導体制を整える。	3.1		3	4	1	0		1	7	1	0		
	3	入学者増に向けた取り組みの充実	保護者や近隣の中学校に対し、本校の教育活動について周知できているか。	3.0		2	5	1	0		4	4	1	0		
	4	校内ネットワーク環境の整備・充実	適切な文書管理や、そのための校内ＬＡＮ活用の促進と機器整備を実現できているか。	3.5		2	6	0	0		5	3	1	0		
進路・就職	1	機能的な学校運営を図る。	各分掌や全日制と連絡調整に努め、行事を円滑に実施するように努める。	3.4	3.1	4	4	0	0	6	3	6	0	0	7	3.2
	2		教頭と協力し円滑な職員会議の運営に努める。	3.6		4	4	0	0		6	3	0	0		
	3	自己理解を深めさせ、進路実現に向けて意欲をもたせる。	進路講話等で、自己理解し、自己決定能力を高めさせる。	3.3		3	5	0	0		3	3	3	0		
	4		「進路通信」を発行し、日頃の指導の中でも生徒に呼びかける。	2.8		2	5	1	0		1	6	2	0		
	5		生活体験発表の取り組みを通して自分の成長・変化を理解させる。	3.5		5	3	0	0		4	4	1	0		
	6		「進路のしおり」を活用し、キャリア教育の充実を図る。	2.9		2	6	0	0		0	4	5	0		
	7	個に応じた進路情報の提供及びキャリア教育の推進を図る。	在学期間中のキャリア・パスポートの活用を促進する。	3.1		2	6	0	0		1	5	2	0		
	8		主に長期休業を活用してのインターンシップを実施する。	2.3		1	3	2	2		1	1	1	0		
	9		ハローワークと連携し、生徒に適合する就職先の開拓に努める。	2.8		2	6	0	0		5	3	1	0		
	10		学資金、奨学金、教育ローンを有効活用できるよう情報提供に努める。	3.1		3	5	0	0		4	5	0	0		
	11	その他	ＰＴＡ、定通教育振興会と連携関係を取るように努める。	3.3		2	6	0	0		5	4	0	0		
	12		広報「まほろば」、学校ホームページを活用し、保護者や地域住民への情報提供に努める。学校ホームページの充実を図り、生徒募集に努める。	3.4		3	5	0	0		4	5	0	0		
	13		給食を通して食に関する指導を行う。	3.3		3	4	1	0		1	6	2	0		
教務部	1	教育課程の編成と改善の研究を図る。	学習指導要領実施について理解を深める。	3.1	3.1	2	6	0	0	2	2	6	1	0	6	3.1
	2		教育課程の充実と三修制の在り方について理解を深める。	3.3		2	6	0	0		1	5	2	0		
	3	個に応じた基礎学力の定着を図る。	基礎学力プリントを毎週配布し、学習習慣と基礎学力を確立する。	3.1		4	4	0	0		5	4	0	0		
	4		定期考査前の学習会を充実させ、生徒が参加しやすい環境を作る。	2.8		4	4	0	0		1	4	4	0		
	5		１年生に年度初めに学力テスト、年度終わりにCBAテストを実施し、１年間の学力を見える化する。	3.1		2	5	1	0		3	6	0	0		
	6	学習指導の工夫、改善を図る。	生徒による授業評価を実施し、授業改善と評価改善の基礎資料とする。	3.3		4	4	0	0		2	4	3	0		
	7		ICTを活用した授業の実践と充実を図る。	3.0		3	4	0	1		1	2	1	0		
	8		基礎学力を重視した時間割の編成に努めるとともに、生徒の実態に合わせた授業展開の工夫を行う。	3.4		3	5	0	0		2	7	0	0		
生徒指導部	1	一人ひとりの成長と基本的生活習慣の確立	学校生活の規律と社会生活のルール、規範を守った行動が取れるように育成する。	3.3	3.3	2	6	0	0	1	4	4	1	0	0	3.4
	2		挨拶、礼儀、意思表示、傾聴姿勢、連絡、遅刻防止、協力、携帯電話のマナーなど社会性の基本を身につける。	3.1		2	5	1	0		4	3	2	0		
	3		学校行事等さまざまな機会や活動を通じて、生徒個々の特性に応じた成長を図る。	3.4		2	6	0	0		5	4	0	0		
	4	いじめの未然防止と組織的対応	全体の共通理解のもと、見過ごさない意識と日常的な情報共有を実践し、早期発見・早期対応を徹底する。	3.3		2	6	0	0		6	1	2	0		
	5	生徒理解と支援を目指した教育相談	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、保護者と連携し生徒の抱える問題把握と支援に努める。	3.4		3	5	0	0		3	4	2	0		
	6		日常的コミュニケーションを通じて生徒理解を深め、内面の変化に応じてきめ細かい対応をする。	3.4		3	5	0	0		5	4	0	0		
	7	保護者、関係機関との連携推進	保護者との相互理解に基づく指導と支援、関係機関と有効な連携を図る。	3.3		3	5	0	0		3	5	1	0		
	8	生徒会活動の充実と自己有用感の育成	主体的取組みによる生徒会活動の活性化を進め、仲間意識と一体感の持てる楽しい学校生活つくりを目指す。各種行事を通じて協力、尊重、責任、役割、承認等の場面を積み重ね達成感を高める。	3.5		3	5	0	0		4	5	0	0		
各教科	1		シラバスに基づいた指導・評価が実施されているか。	3.1	3.1	2	6	0	0	1	0	8	1	0	4	2.9
	2		学ぶ楽しみや関心・意欲を持たせる工夫ができているか。	3.3		2	6	0	0		4	4	1	0		
	3		教材の研究と精選及びICT活用の工夫・改善を図り、学力を定着させる授業づくりができているか。	3.3		3	5	0	0		0	6	3	0		
	4		他教科との関連をふまえた指導ができているか。	3.0		3	5	0	0		1	4	2	0		
	5		探究的な学習を広く導入できたか。	2.8		2	5	1	0		0	4	3	0		
	6		授業・評価の工夫・改善に取り組んだか。	3.1		2	6	0	0		2	7	0	0		
				3.2	3.2	117	227	13	3	16	136	199	52	0	18	3.2